

観光地域づくり法人形成・確立計画

1. 観光地域づくり法人の組織

申請区分 ※該当するものを○ で囲むこと	広域連携DMO・地域連携DMO・ 地域DMO	
観光地域づくり法人 の名称	一般社団みよし観光まちづくり機構	
マーケティング・マ ネジメント対象とす る区域	区域を構成する地方公共団体名 広島県三次市	
所在地	広島県三次市	
設立時期	平成29年12月15日	
職員数	11人【常勤8人（正職員3人契約職員5人）、パートタイム3人】	
代表者	(氏名) 堂本 昌二 (出身組織名) 三次市	三次市職員、現在は副市長として、地域の様々なパイプ役となっており、様々な取組で成果を挙げている。
データ収集・分析等 の専門人材（CM O：チーフ・マーケ ティング・オフィサー	(氏名) 永江 博之「専従」 (出身組織名) 株式会社アサツーディ・ ケイ（ADK）	東急観光株式会社（現東武トップツアーズ株式会社）インバウンド事業部門にて、訪日観光パッケージツアーの企画・オペレーション、及び大手製造メーカー海外販社の大型訪日インセンティブツアー（インバウンド）の企画提案、オペレーションを16年間実施、その後米国マーケティング会社カールソンマーケティングを経て、株式会社アサツーディ・ケイ入社後、リレーションシップマーケティング、CRM 専門子会社を設立運営、国内外クライアントに対して各種マーケティングサポートを通算15年間実施。
財務責任者 （CFO：チーフ・ フィナンシャル・オ フィサー）	(氏名) 藤井 啓介 (出身組織名) 三次市	三次市において33年間勤務。持続可能な運営のため、限られた予算の中で事業の執行や各種の補助金など財源確保に関する取組を行う。
各部門 プロモーションの責 任者	(氏名) 永江 博之 (出身組織名) 株式会社アサツーディ・ ケイ（ADK）	東急観光株式会社（現東武トップツアーズ株式会社）インバウンド事業部門にて、訪日観光パッケージツアーの企画・オペレーション、及び大手製造メーカー海外販社の大型訪日インセンティブツアー（インバウンド）の企画提案、オペレーションを16年間実施、その後米国マーケティング会社カールソンマーケティングを経て、株式会社アサツーディ・ケイ入社後、リレーションシップマーケティング、CRM 専門子会社を設立運営、国内外クライアン

(別添) 様式 1

		トに対して各種マーケティングサポートを通算 15 年間実施。						
各部門 (例: 旅行商品の造成・販売) の責任者 (専門人材)	(氏名) (出身組織名)							
連携する地方公共団体の担当部署名及び役割	広島県三次市産業振興部商工観光課 (マーケティング、プロモーション、商品化・ブランド開発)、農政課 (農業体験)、地域振興課 (まちづくり・エリア開発)、定住対策暮らし支援課 (空き家対策)							
連携する事業者名及び役割	一般社団法人三次市観光協会 (観光案内及び地域イベントの運営) 君田町観光協会 (観光案内及び地域イベントの運営) 作木町観光協会 (観光案内及び地域イベントの運営) 三良坂町観光協会 (観光案内及び地域イベントの運営) 甲奴町観光協会 (観光案内及び地域イベントの運営) みよし田舎ツーリズム協議会 (着地型旅行商品) 三次商工会議所 (創業支援、商品開発支援) 三次広域商工会 (創業支援、商品開発支援) 三次市住民自治組織連合会 (まちづくり) 広島みどり信用金庫 (資金相談) 株式会社広島銀行 (資金相談)							
官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み	【該当する登録要件】② (概要) 多様な観光関係者が参加する既存組織「三次市観光キャンペーン実行委員会」を合意形成の場として活用している。 本実行委員会は、現在三次市が事務局を担っているが、構成団体の充実など本会を改組して、現状や戦略の共有や積極的な意見交換を通じた合意形成の場としてより機能を高める取り組みを進める。令和3年度							
地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組	・「三次地区の文化・観光まちづくりを進める会」の事務局として、比熊山の登山道整備などを進めている。 ・三次地区の文化・観光まちづくりを進めるために、「まち全体を泊まれる美術館」をキーコンセプトに三次地区のにぎわい創出に向けて構想を住民に説明し意見交換している。							
法人のこれまでの活動実績	(活動の概要) <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">事業</th> <th>実施概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>情報発信・プロモーション</td> <td> ・2019 年度事業 機構HP「WalkK @round Miyoshi」公開 (英語ページも作成) スマホ対応まち歩きアプリ作成・公開 「WalkK @round Miyoshi」パンフレット発行 三次地区デジタルスタンプラリー ぶらりもののけクイズラリー 三次もののけフェスティバル開催 </td> </tr> <tr> <td>受入環境の整備</td> <td> ・2019 年度事業 観光推進ワークショップ開催 比熊山登山道整備 </td> </tr> </tbody> </table>		事業	実施概要	情報発信・プロモーション	・2019 年度事業 機構HP「WalkK @round Miyoshi」公開 (英語ページも作成) スマホ対応まち歩きアプリ作成・公開 「WalkK @round Miyoshi」パンフレット発行 三次地区デジタルスタンプラリー ぶらりもののけクイズラリー 三次もののけフェスティバル開催	受入環境の整備	・2019 年度事業 観光推進ワークショップ開催 比熊山登山道整備
事業	実施概要							
情報発信・プロモーション	・2019 年度事業 機構HP「WalkK @round Miyoshi」公開 (英語ページも作成) スマホ対応まち歩きアプリ作成・公開 「WalkK @round Miyoshi」パンフレット発行 三次地区デジタルスタンプラリー ぶらりもののけクイズラリー 三次もののけフェスティバル開催							
受入環境の整備	・2019 年度事業 観光推進ワークショップ開催 比熊山登山道整備							

(別添) 様式 1

	<p>観光資源の磨き上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2019 年度事業 <ul style="list-style-type: none"> 熱気球体験搭乗会開催 みよし物怪まつり開催 <p>(定量的な評価) 三次市観光実態調査 三次市観光定性調査</p>
<p>実施体制 ※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること(別添可)。</p>	<p>(実施体制の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員(専従)は3名体制。 ・ 当法人の社員構成は、市内5観光協会、2経済団体、三次市であり、日常的には理事会等(すべての構成団体から理事選出)で連携をはかっている。 ・ 宿泊業者や飲食業者、交通事業者など多様な関係者が意見交換、連携をする場としては三次市観光キャンペーン実行委員会があり、当機構も加わっているが、今後はより連携体制を強化するために実行委員会の改組を検討していく。 <p>(実施体制図)</p> <p>(三次市観光キャンペーン実行委員会(2019年))</p>

(別添) 様式 1

No.	会員	No.	会員
1	三次市	19	株式会社布野特産センター
2	三次商工会議所	20	とみしの里振興協議会
3	(一社) 三次市観光協会	21	(有)ハイヅカ湖畔の森
4	三次市ホテル旅館組合	22	(有)みわ375
5	広島県喫茶飲食生活衛生同業組合 三次支部	23	三次市観光ボランティアガイドグループ
6	広島県飲食業生活衛生同業組合 三次飲食支部	24	奥田元宋・小由女美術館ボランティアスタッフ
7	広島県すし商生活衛生同業組合 三次支部	25	三次シニアライオンズクラブ
8	三次農業協同組合	26	三次市女性会連合会
9	三次地方森林組合	27	物怪プロジェクト三次
10	三次広域商工会	28	備北地域農業青年クラブ連絡協議会
11	君田町観光協会	29	三次市住民自治組織連合会
12	作木町観光協会	30	三次町歴みち協議会
13	三良坂町観光協会	31	辻村寿三郎人形館
14	甲奴町観光協会	32	平田観光農園
15	株式会社広島三次ワイナリー	33	西日本旅客鉄道株式会社広島支社 三次鉄道部
16	広島県立歴史民俗資料館	34	西日本高速道路株式会社中国支社 三次高速道路事務所
17	(公財) 奥田元宋・小由女美術館	35	(一社)みよし観光まちづくり機構
18	株式会社君田トエンティワン		

2. 観光地域づくり法人がマーケティング・マネジメントする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】



(三次市HPより)

【区域設定の考え方】

三次市の中心市街地、三次町、酒屋地区の3つのエリアにおける「交流拠点」を活かし、市内の観光資源を組み合わせ、ネットワーク化を図りながら、三次全体としての魅力向上に努め、目的地となり得る「観光地域づくり」を推進していく。

【観光客の実態等】

平成26年(2014)	入込観光客数	1,561千人	宿泊者数	103千人	観光消費額	4,475百万円
平成27年(2015)	入込観光客数	2,060千人	宿泊者数	135千人	観光消費額	5,389百万円
平成28年(2016)	入込観光客数	2,078千人	宿泊者数	137千人	観光消費額	5,443百万円
平成29年(2017)	入込観光客数	2,089千人	宿泊者数	137千人	観光消費額	5,483百万円
平成30年(2018)	入込観光客数	2,035千人	宿泊者数	135千人	観光消費額	5,316百万円
令和元年(2019)	入込観光客数	2,114千人	宿泊者数	179千人	観光消費額	6,543百万円

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

主要な観光施設：広島三次ワイナリー、君田温泉森の泉、平田観光農園、トレッタみよし等

自然：尾関山公園、常清滝、神之瀬峡県立自然公園、江の川、霧の海等

文化：奥田元宋・小由女美術館、日本妖怪博物館、三次人形、県立みよし風土記の丘、三次市民ホールきりり等

スポーツ：みよし運動公園、広島県立みよし公園、江の川カーヌー公園さくぎ、灰塚ダムトライアルパーク等

イベント：鶺鴒、花火大会、きんさい祭り等

(別添) 様式 1

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】 「三次宿泊施設一覧」				
区 分	施設名称	所在区域	部屋数	収容数 (人)
旅館	鶴鳴館	三次地区	8	21
	中瀬旅館	十日市地区	7	15
	松見楼	十日市地区	5	18
	旅館更科	十日市地区	10	20
	長岡旅館	十日市地区	14	36
	大和旅館	十日市地区	6	12
	ふだば旅館	神杉地区	25	50
	君田温泉森の泉	君田地区	12	48
	滝見家旅館	作木地区	11	20
	あきやま旅館	甲奴地区	5	12
	卑弥呼蔵寝床と学び舎青猫	三次地区	4	12
ホテル (ビジネスホテル含む)	三次グランドホテル	十日市地区	88	108
	三次ロイヤルホテル	十日市地区	131	238
	ビジネスホテルニューたか	粟屋地区	15	25
	ホテルα・1 三次	十日市地区	216	252
	ビジネスホテル白鳥荘	八次地区	15	40
	三原ビジネスホテル	三次地区	4	4
	ビジネスホテル&ゲストライカ	酒屋地区	39	39
その他	とみしの里小富士荘	吉舎地区	10	30
	体験交流センターやすらぎ荘	甲奴地区	3	45
	ペンションカーターヒルズ	甲奴地区	2	4
	広島ふるさと村	三和地区	6	84
農家民宿	ほしはら山のがっこう	川西地区	-	38
	農家民宿菜の花ばたけ	作木地区	1	6
	きこりの家	布野地区	-	5
	民宿ポンママの宿かくれんぼ	川西地区	-	10
	農家民宿竹丸屋	川西地区	-	6
	農家民宿かみいと	川西地区	-	5
	田舎宿風の道	和田地区	6	16
	元笑訪	吉舎地区	-	10
	農家民宿こがねや	君田地区	-	8
	山仕事体験民宿気楽坊	甲奴地区	2	10
			645	1,247

(別添) 様式 1

【利便性：区域までの交通、域内交通】	
広島から JR 芸備線快速（三次駅）	1 時間 20 分
広島から高速バス（広島 BC～三次駅）	1 時間 20 分
福山から JR 福塩線（三次駅）	2 時間 30 分
福山からバス	1 時間 50 分
広島空港から広島経由高速バス	2 時間 30 分
松江から高速バス（三次 IC）	1 時間 36 分
新大阪から高速バス	4 時間 30 分
みよし市街地循環バス「くるるん」他	
【外国人観光客への対応】	
英語・韓国語・中国語の観光パンフレットを作成	
機構HP「Walk @round Miyoshi」英語化	

3. 各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
旅行消費額	来訪者の発着地・目的・消費額を調査することで経済効果を把握し、分析するため	「広島県観光客数の動向」をもとに集計
延べ宿泊者数	宿泊施設の利用客数を把握することで経済効果を把握し、分析するため	宿泊施設への調査により実施
来訪者満足度	来訪者の満足度を把握することでサービス・商品の改善に繋げるため	継続的なウェブ調査により把握
リピーター率	再来訪者数の把握・整理	継続的なウェブ調査により把握
入込観光客数	市外からの観光客数の実態を把握するため	「広島県観光客数の動向」をもとに集計
外国人観光客数	市内への外国人観光客数の実態を把握するため	「広島県観光客数の動向」をもとに集計
WEBサイトのアクセス状況	地域に対する顧客の関心度や施策の効果等を把握するため	機構HP及び公式観光HPの状況を把握、分析
定性調査	顧客が興味を持つコンテンツを探り、コンテンツ開発を進めるため	各種ターゲットを絞り、インタビューによる調査

4. 戦略

(1) 地域における観光を取り巻く背景

※地域経済、社会等の状況を踏まえた観光地域づくりの背景

三次市においても、少子・高齢化、人口減少が進んでいる中、生産年齢人口の減少や需要の減少による市場の縮小、企業の撤退や商店の閉店、また耕作放棄地の拡大など課題が山積している。こうした地域の課題に対し、集積されてきた歴史や文化を、観光地域づくりという視点で見直し、地域外からの人の流入（観光）による新たな価値の創出、地域外からのプレーヤーの確保を図り、「ツナガリ人口」の拡大（三次市総合計画）をめざす。

(2) 地域の強みと弱み (cross swot)

(別添) 様式 1

	好影響	悪影響
内部環境	<p>強み (Strength)</p> <p>① 伝統・史跡や文化（卯建のあるまちなみ、鶺鴒、三次人形、辻村寿三郎人形館、浅野内匠頭正室・阿久利姫（瑤泉院）遺髪堂や義士堂など忠臣蔵ゆかりの鳳源寺）</p> <p>② 美しい景観（県内有数の桜・紅葉の名所「尾関山公園」、霧の海、常清滝、神之瀬峡自然公園）</p> <p>③ ファミリーで楽しめる酒屋地区（広島三次ワイナリー、みよし運動公園、みよしあそびの王国、トレッタみよし、みよし森のポッケ、奥田元宗・小由女美術館）</p> <p>④ 温泉資源（君田温泉森の泉）</p> <p>⑤ フルーツの恵み（三次ピオーネ、平田観光農園、フルーツランドふの等）</p> <p>⑥ 充実したスポーツ施設（みよし運動公園、広島県立三次公園、江の川カヌー公園さくぎ等）</p> <p>強みを活かす戦略</p> <p>① 県内外、近隣都市、全国への PR、プロモーションの強化（ネット、紙媒体）</p>	<p>弱み (Weaknesses)</p> <p>① 観光資源の不足や観光インフラ、既存観光地の整備不足</p> <p>② 不便な公共交通機関（沿岸部、都市部からのアクセスの悪さ、西日本豪雨災害による JR の運行停止）</p> <p>③ 宿泊施設の不足（市内全域で約 650 部屋程度）</p> <p>④ ご当地グルメの不足</p> <p>弱みを克服する戦略</p> <p>① 観光資源の開発 (Dream Making)</p> <p>平成 31 年春、日本妖怪博物館（三次もののけミュージアム）の開業を機に、ミュージアム周辺の三次町（旧市街地全域）の活性化（三次まるごと博物館構想の展開）、高谷山（霧の海）山頂の観光資源の整備（レストラン、グランピング、宿泊施設等運営の観光事業者の誘致）やピオーネ団地を拡大したアグリパーク構想の展開</p> <p>② 広島駅、広島空港からのお客様向けに、レンタカー会社と組んだ格安フリードライブ宿泊プランの開発</p> <p>③ 日本妖怪博物館（三次もののけミュージアム）来訪者をターゲットにした周辺の三次町（旧市街地）の空き家を有効活用した民泊事業計画の推進</p> <p>④ 霧里パークを活用した食材開発（みよしホルモン等）</p>
外部環境	<p>機会 (Opportunity)</p> <p>① 「中国縦貫自動車道」（東西交流）に加え、平成 27 年度「中国やまなみ街道」（南北交流/尾道～三次～松江間/大半が無料区間）の全線開通による交通量、来訪者の増大（中国やまなみ街道開通前、平日 10,000 台→開通後、12,600 台/日、同 休日 8,400 台→14,000 台/日）</p> <p>② 平成 31 年春、日本初「日本妖怪博物館（三次もののけミュージアム）」の開業</p> <p>機会を活かす戦略、機会を増やす戦略</p> <p>① 日本妖怪博物館（三次もののけミュージアム）開業を機に、三次町（旧市街地）の活性化構想（三次まるごと博物館）の展開により、三次町全体の観光資源開発を推進</p> <p>② 広島県内のみならず日本全国の妖怪ファンをターゲットにした新たな観光客層の取り込み（県内集中 PR から全国 PR へのシフト）</p> <p>③ 日本妖怪会議、怪フォーラム等の妖怪イベント、コンベンションの誘致</p> <p>④ 三次市以外の妖怪観光推進をする全国の市町村と組んだ妖怪市町村連携型周遊旅行ルートの開発による妖怪ファンの入込数の拡大</p> <p>⑤ ファミリー層を中心に集客力のある酒屋地区から三次町（旧市街地）への誘導プロモーション</p> <p>⑥ アグリパーク構想展開によるフルーツ需要旅行者市場の拡大や農泊来訪者の拡大</p>	<p>脅威 (Threat)</p> <p>① 天災（地震、台風、洪水、豪雨、その他甚大な自然災害）による三次市への観光客の減少</p> <p>② 東西南北交通量の拡大により、三次市を素通りする観光客の増大</p> <p>③ （特に大型イベント開催時等）大型宿泊施設等への一極集中による宿泊者数の制限</p> <p>脅威を緩和、回避する戦略、又は撤退する戦略</p> <p>① 三次市をあげた防災体制、防災補強工事の強化の検討要請</p> <p>② 新たな宿泊事業者の誘致</p> <p>③ 民泊事業の推進や民泊助成金の検討</p>

(3) ターゲット

(別添) 様式 1

<p>○第1ターゲット層 広島県内の20~40代のファミリー層を対象に、ファミリーで楽しめる酒屋地区（広島三次ワイナリー、みよし運動公園、みよしあそびの王国、トレッタみよし、森のポッケ、奥田元宋・小由女美術館）への誘導</p>
<p>○選定の理由、○取組方針 （選定理由）酒屋地区は、既に年間40万以上の観光客数を有し、その主な観光客層は、ファミリー層であるため、このセグメントの旅行客総数を伸ばしたいため （取組方針）主に広島県内、近隣県へのPR、プロモーションの実施、旅行代理店への団体旅行企画の提案</p>
<p>○第2ターゲット層（従来存在しなかった新たな Special Interest 観光客市場） 日本妖怪博物館（三次もののけミュージアム）と三次町旧市街地への日本全国及び台湾からの妖怪ファンの来訪促進</p>
<p>○選定の理由、○取組方針 （選定理由）平成31年春、日本初「日本妖怪博物館（三次もののけミュージアム）」の開業と周辺の旧市街地を含めた三次町「泊まれる美術館」構想の推進 （取組方針）妖怪をテーマにしたコスプレコンテストやアート作品の制作、町への設置などコンテンツの開発、磨き上げ。日本全国の妖怪ファン、台湾へのPR、プロモーションの推進</p>
<p>○クロスマーケティング 第1ターゲット層の第2ターゲット層エリアへの誘導 第2ターゲット層の第1ターゲット層エリアへの誘導</p>

(4) 観光地域づくりのコンセプト

<p>①コンセプト</p>	<p>東西南北、時代と世代を超えて、旅人を温かく迎えてくれるまち、それが三次。</p>
<p>②コンセプトの考え方</p>	<p>中国縦貫道（東西）とやまなみ街道（南北）のクロスポイントである景観豊かな三次市には、備後三次初代藩主浅野長治が築いた400年の伝統文化のある三次町（旧市街地）と子どもの健やかな成長を見守るファミリー層が楽しめるみよし遊びの王国やみよし森のポッケ（子どもの室内遊技場）、みよし運動公園と広島三次ワイナリーやトレッタみよし、ピオーネ団地などの三次の特産品をお届けするグルメスポットが共存する酒屋という対照的な新旧の拠点が融和するまちである。また、市内には温泉や観光農園、江の川を活用したカヌー体験ができる公園などアクティビティも点在している。 四季折々に、美しい景観と食材がどんな旅人も温かく迎えてくれるまち、「見てよし、遊んでよし、食べてよし、泊まってよし、それが三次」そんな三次市のまちづくりをめざす。</p>

5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本法人は、観光関連事業者である三次市、三次市商工観光課、三次市観光協会、三次市内各町内観光協会、商工会議所等で構成する一般社団法人であり、理事は各構成団体から選任しており、年 5～6 回の理事会により観光関連の情報、事業戦略を共有している。 ・ また、三次市を事務局に「三次市観光キャンペーン実行委員会」が宿泊事業者、交通事業者、飲食事業者、農業団体等広範な関係団体で構成されており、年 2 回の会合により意見交換を行っている。今後は本実行委員会をベースにより連携体制を強化していくための改組を検討していく。 ・ 三次市の今後の観光振興重点エリアとしての三次地区では、「三次地区の文化・観光まちづくりを進める会」を地域住民で組織しており、本機構はその事務局を担い、現在同地区の比熊山登山道整備を進めている。今後は町中の旧市街地でのコンテンツ開発を、進める会や商店街、自治会と連携しながら、進めていく予定である。
観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築	<p>三次市を訪れた方への WEB 調査（抽出）により、満足度をはじめとした評価や意見を聞いている。</p> <p>今後の課題としては、観光客の評価や意見を分析し、改善点を見出し、関係者と共有する仕組みづくりである。</p>
観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信・プロモーション	<p>機構ホームページのコンテンツの充実や英語化、まち歩きアプリの導入などとともに、デジタルスタンプラリーやクイズラリー、もののけフェスティバルなどのプロモーションイベントを展開している。</p> <p>今後の課題としては、よりメインターゲットを意識し、訴求できる情報発信、プロモーションの在り方を追及していくことである。</p>

6. K P I (実績・目標)

(1) 必須 K P I

指標項目		2017 (H29) 年	2018 (H30) 年	2019 (R 1) 年	2020 (R 2) 年	2021 (R 3) 年	2022 (R 4) 年
●旅行消費額 (百万円)	目標	()	5532 ()	5585 ()	5635 ()	検討中 (R2) ()	検討中 (R2) ()
	実績	5482 ()	5316 ()	6543 ()	()	()	()
●延べ宿泊者数 (千人)	目標	()	138 ()	139 ()	140 ()	検討中 (R2) ()	検討中 (R2) ()
	実績	137 ()	135 ()	179 ()	()	()	()
●来訪者満足度 (%)	目標	()	56 ()	58 ()	60 ()	検討中 (R2) ()	検討中 (R2) ()
	実績	54 ()	85 ()	58 ()	()	()	()
●リピーター率 (%)	目標	()	79 ()	77 ()	80 ()	検討中 (R2) ()	検討中 (R2) ()
	実績	77 ()	84 ()	78 ()	()	()	()

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

- ・ 広島県観光入込客統計のデータを参考に、来訪者満足度、リピーター率に関するデータを調査し、持続性のある観光地経営のための定性的な効果も含めて把握するため「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の考え方を踏まえ、本法人の事業戦略に基づく目標値を検討。
- ・ 現在、三次市は様々な観光関係者からなる検討委員会を設けて、観光戦略の見直しを行っているところであり、その結果を踏まえて 2021 年以降の新たな目標値を設定する予定である。

【設定にあたっての考え方】

① 旅行消費額

平成 27 年から 29 年の旅行消費額伸び率 1.7%を基本としつつも、日本妖怪博物館の開館という新たな要素を加味して、平成 32 年の旅行消費額を平成 29 年比 2.8%の増加をめざす。

② 延べ宿泊者数

三次市内の主要な宿泊施設の稼働率は比較的高く施設が不足気味であるので、民泊などの開設を並行して促進しながら、年間 1,000 人 (3 年間で 3,000 人) の増加をめざす。

③ 来訪者満足度

各年 2%向上し、令和 2 年は 60%をめざす。

④ リピーター率

日本妖怪博物館が開館する平成 31 年は新規来訪者を獲得することを想定するとともに、令和 2 年には再訪したい地域として定着することを目標として 80%をめざす。

(2) その他の目標

指標項目		2017 (H29) 年	2018 (H30) 年	2019 (R1) 年	2020 (R2) 年	2021 (R3) 年	2022 (R4) 年
●入込観光客数 (千人)	目標	2089 (6.6)	2101 (10)	2122 (11)	2130 (12.7)	検討中 (R2) ()	検討中 (R2) ()
	実績	2089 (6.6)	2035 (7.3)	2114 (6.2)	()	()	()
●ウェブサイト ユーザー数 (千人)	目標	()	()	DMO サイト構 築 ()	()	検討中 (R2) ()	検討中 (R2) ()
	実績	()	()	17 ()	40 ()	()	()

指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

【設定にあたっての考え方】

●入込観光客数

入込観光客数は、実績をベースに目標値を設定したが、今後は、国内では、妖怪コンテンツなどによるスペシャルインタレスト層へのアプローチ、さらにコロナ終息後の外国人観光客へのアプローチ（コンテンツ造成、プロモーション手法）を検討し、計画、実行していかねばならない。

●ウェブサイトユーザー数

令和元年、機構HP「Walk @round Miyoshi」の構築及び英語化をし、随時新たな記事を発信しているが、ユーザー数は4万人程度にとどまっており、SEO対策をやりつつ、三次市の公式観光ホームページ（ユーザー数 2019年 231千人 2020年 189千人）との役割分担のもと、令和2年に構築した「まち歩きアプリ」やSNSなどとも連動しながら情報発信を進める。

7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

(1) 収入

年(年度)	総収入 (円)	内 訳
2017 (H29) 年度	13,744,000	【市からの補助金】 7,750,000 【市からの受託事業】 5,994,000
2018 (H30) 年度	50,712,000	【市からの補助金】 30,160,000 【市からの受託事業】 20,552,000
2019 (R1) 年度	104,395,000	【市からの補助金】 56,615,000 【国からの補助金】 3,440,000 【市からの受託事業】 8,048,000 【施設利用料収入】 1,975,000 【売上高】 34,317,000
2020 (R2) 年度	103,191,000	【市からの補助金】 60,000,000 【国からの受託事業】 15,000,000 【市からの受託事業】 13,236,000 【施設利用料収入】 1,910,000 【売上高】 10,000,000 【繰越金】 2,645,000 【雑収入】 400,000
2021 (R3) 年度	173,090,000	【市からの補助金】 100,000,000 【市からの受託事業】 40,000,000 【施設利用料収入】 19,440,000 【売上高】 13,200,000 【負担金】 400,000 【雑収入】 50,000
2022 (R4) 年度	133,090,000	【市からの補助金】 60,000,000 【市からの受託事業】 40,000,000 【施設利用料収入】 19,440,000 【売上高】 13,200,000 【負担金】 400,000 【雑収入】 50,000

(2) 支出

年(年度)	総支出 (円)	内 訳
2017 (H29) 年度	13,744,000	【一般管理費】 7,750,000 【国内プロモーション】 5,994,000
2018 (H30) 年度	50,523,000	【一般管理費】 17,436,000 【マーケティング(市場調査、ブランド戦略等)】 11,616,000

(別添) 様式 1

		【プロモーション】	21,471,000
2019 (R1) 年度	98,355,000	【一般管理費】	26,399,000
		【調査分析】	5,987,000
		【資源開発】	12,670,000
		【プロモーション】	16,517,000
		【施設管理】	6,017,000
		【売店事業】	30,765,000
2020 (R2) 年度	103,173,000	【一般管理費】	29,660,000
		【調査分析】	3,500,000
		【資源開発】	33,600,000
		【プロモーション】	8,100,000
		【施設管理】	15,571,000
		【売店事業】	12,742,000
2021 (R3) 年度	163,835,000	【一般管理費】	30,000,000
		【調査分析】	3,500,000
		【資源開発】	58,400,000
		【プロモーション】	8,100,000
		【施設管理】	50,670,000
		【売店事業】	13,165,000
2022 (R4) 年度	114,435,000	【一般管理費】	30,000,000
		【調査分析】	3,500,000
		【資源開発】	9,000,000
		【プロモーション】	8,100,000
		【施設管理】	50,670,000
		【売店事業】	13,165,000

(3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

日本妖怪博物館（三次もののけミュージアム）の指定管理を受託する中で、入館料、売店収入を確保する。

8. 観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

※設定対象区域の都道府県及び市町村が、本法人を当該都道府県・市町村における観光地域づくり法人として認める旨を含む意見を記入すること。

(例) 広島県三次市は、一般社団法人みよし観光まちづくり機構を当該市における（地域DMO）として登録したいので一般社団法人みよし観光まちづくり機構とともに申請します。

9. 記入担当者連絡先

担当者氏名	藤井 啓介
担当部署名 (役職)	事務局長
郵便番号	728-0021
所在地	広島県三次市三次町 1691 番地 4 三次もののけミュージアム交流館内
電話番号 (直通)	0824-62-6150
F A X 番号	0824-62-6137
E - m a i l	k.fujii@miyoshi-dmo.jp

10. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

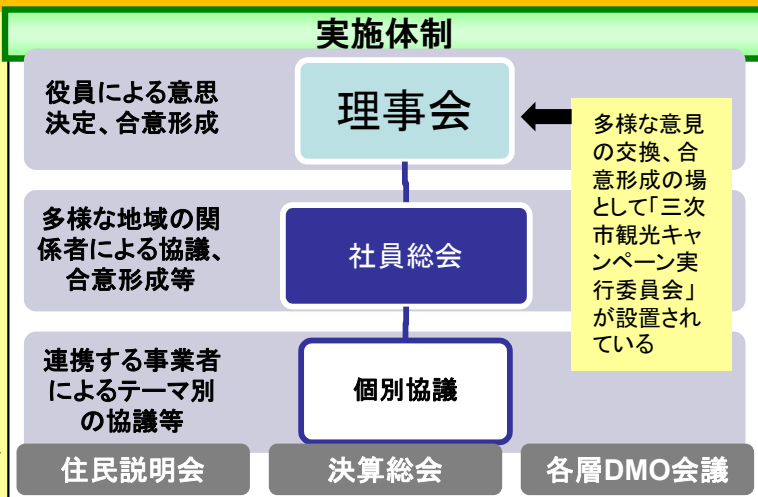
都道府県・市町村名	広島県三次市
担当者氏名	山西 正晃
担当部署名 (役職)	産業振興部商工観光課 (課長)
郵便番号	728-8501
所在地	三次市十日市中二丁目 8 番 1 号
電話番号 (直通)	0824-62-6170
F A X 番号	0824-64-0172
E - m a i l	kankou@city.miyoshi.hiroshima.jp

都道府県・市町村名	広島県三次市
担当者氏名	小山 知秀
担当部署名 (役職)	産業振興部商工観光課観光振興係 (係長)
郵便番号	728-8501
所在地	三次市十日市中二丁目 8 番 1 号
電話番号 (直通)	0824-64-0066
F A X 番号	0824-64-0172
E - m a i l	kankou@city.miyoshi.hiroshima.jp

【区域】 広島県、三次市
【設立日】 平成29年12月15日
【登録日】 令和元年8月7日
【代表者】 堂本昌二
【マーケティング責任者(CMO)】

永江博之
【財務責任者(CFO)】
藤井啓介
【職員数】 8人
常勤8人(正職員3人、契約5人)、パート3人

【連携する主な事業者】
三次市観光キャンペーン実行委員会、
三次市内5観光協会、三次商工会議所、三次広域商工会など



マーケティング・マネジメントする区域

【主な観光資源】
霧の海、常清滝、神之瀬
峡県立自然公園、鶴飼
広島三次ワイナリー、君
田温泉森の泉、平田観
光農園、トレッタみよし、
みよしあそびの王国、江
の川カヌー公園さくぎ、
日本妖怪博物館、奥田
元宋・小由女美術館、み
よし風土記の丘、夢ラン
ド布野、みわ375
三次町 など

(三次市HPより)

合意形成の仕組み

【該当する登録要件】②
【概要】
多様な観光関係者が参加する既存組織「三次市観光キャンペーン実行委員会」を合意形成の場として活用している。

戦略

【主なターゲット】
(1)20~40代広島県内を中心としたファミリー層
(2)全国の妖怪(もののけ)やコスプレなどのスペシャルインタレスト層

【ターゲットの誘客に向けた取組方針】
(1)ファミリー層
あそびの王国(大型遊具)や森のポッケ(屋内遊具)、カヌー公園キャンプ場など、子どもを中心にファミリーで楽しめるスポットのPR
(2)スペシャルインタレスト層
妖怪博物館、三次町「泊まれる美術館」構想の推進

KPI(実績・目標)

※()内は訪日外国人旅行者に関する数値

項目		2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R3)
旅行消費額 (百万円)	目標	()	5532	5585	5635	検討中	検討中
	実績	5482	5316	6543	()	()	()
延べ宿泊者数 (千人)	目標	()	138	139	140	検討中	検討中
	実績	137	135	179	()	()	()
来訪者満足度 (%)	目標	()	56	58	60	検討中	検討中
	実績	54	85	58	()	()	()
リピーター率 (%)	目標	()	79	77	80	検討中	検討中
	実績	77	84	78	()	()	()

法人のこれまでの活動実績

【情報発信・プロモーション】
・機構HP「WalkK @round Miyoshi」公開(英語ページも作成)
スマホ対応まち歩きアプリ作成・公開
・三次もののけフェスティバル開催(三次もののけミュージアムオープン記念事業)
【観光資源の磨き上げ】
・熱気球体験搭乗会開催
みよし物怪まつり開催
【受入環境の整備】
・観光推進ワークショップ開催
・比熊山登山道整備事業

観光関連事業者と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

多様な観光関係者が参加する既存組織「三次市観光キャンペーン実行委員会」を合意形成の場として活用している。本委員会は現在三次市が事務局を担っているが、今後は組織の改組も含めて、合意形成や意見調整、意見交換の場としての機能を高める取り組みを進める。

活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

【主な収入】 受託料 約800万円(R1年)
補助金(三次市等) 約6000万円
売上(指定管理売店) 約3400万円
【総支出】 10000万円(一般管理費4000万円、事業費3000万円、売上原価2900万円)
※R1年期決算
【自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針】
日本妖怪博物館交流館の指定管理受託による物販販売